

巻 頭 言

九州地区大学体育連合会長 則 元 志 郎

本年度2017年9月2日～4日に宮崎公立大学にて「大学体育指導者全国研修会」を九州支部（九州地区大学体育連合）が主管として開催した。

研修会全体のテーマとして、「大学体育の「学修」とは何か ― 6つの異なる内容の授業を体験して ―」を掲げ、以下の呼びかけを行った。

「本研修会では、教養体育（共通教育）における教科内容（学修内容）という観点から研修を計画しています。現在、日本の大学に求められている「学士力」（汎用スキル等）と今後大学に求められていくであろう「ジェネティック・スキル」を前提に、各大学が構想するディプロマ・ポリシー（それらに基づいたカリキュラムポリシーとアドミッション・ポリシー）に対応した「大学体育とは何か」を検討する一つの契機となればと思っています。さらには、今後のスポーツ行政と大学体育・スポーツに関しても研修します。」

例年、本研修会では教員の指導能力の向上をめざした実技研修が中心であったので、上記研修内容には賛否両論があった。

しかし、「指導力」は教員の実技能力だけでないこともあり、授業内容や方法の検討を中核としながら、研修を行う方向で主管地区としては提案し、実施に至った。

参加者数は予想をはるかに上回る50人以上の参加があり、かつ参加者からはかなり好評であったし、実行委員としても充実した研修会となったと思っている。

現代社会が求めるジェネティック・スキルを前提とした「各大学が構想するディプロマ・ポリシーに対応した大学体育」の検討は、時代制約性から見ても重要なことではあるが、一方で「大学体育の役割と活動内容とは何か」を改めて、考えなければならないという契機でもあった。

そこで、「大学体育とは何か」を問うために、体育連合が発足当時のことを少し調べてみた。

1949年（昭和24年）新制大学の発足に伴い、正課体育が生まれる。1952年（昭和27年）には、大学体育協議会（現在の全国大学体育連合）が創立され、大学体育に関する教育・研究活動が展開されていく。一方、1950年（昭和25）年、日本体育学会も誕生し、専門的研究活動を開始されていく。

1956年（昭和31年）大学設置基準が制定され、保健体育（4単位：講義2単位・実技2単位）が、大学卒業要件の必修科目となる。同時に、体育学士の制度や専任教員数の制定などにより、体育は他教科等と同格科目として大学教育の中に位置づけられる。

体育が、①他教科と同格化、②必修科目化、③専任教員確定までの過程で、体育に関わった先輩先生方の多くの努力があったと聞く。それは、教職員・学生の健康管理、課外活動の指導、保健体育教科指導などの大きく3つの役割を果たしていたということである。

現在、これらのうち、「健康管理」は大学内の健康管理センター等が担っているところが多いし、「課外活動」に関しては学生部が担っているところも多く、体育教員の役割は正課科目が中心になっている大学が多い。

大学で求められる「体育の役割と活動内容とは何か」を再度問い直すことも必要であろう。

目 次

巻 頭 言	則元 志郎 (九州地区大学体育連合会長)	1
I. 教育研究論文		
1. 原著論文		
地域スポーツ教室の継続に関わる要因の検討 — 参加した親子の気分状態および継続意志に着目して —	元嶋菜美香 (長崎国際大学) 宮良 俊行 (長崎国際大学) 熊谷 賢哉 (長崎国際大学) 田井健太郎 (長崎国際大学)	5
II. 体育・スポーツ関連情報		
1. 海外だより	栗木 明裕 (筑紫女学園大学)	15
2. 大学めぐり	満園 良一 (久留米大学)	19
III. 平成28年度体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議		
合同開催 第5回大学体育研究フォーラム 平成28年度九州地区大学体育連合春季研修会 開催要項		
1. 研修会プログラム		21
2. ワークショップ		
大学体育授業のためのインストラクショナルデザイン	小林 雄志 (立命館大学)	26
3. 特別講演		
大学体育の価値と評価 身体活動・運動・スポーツと自己成長	橋本 公雄 (熊本学園大学)	29
4. シンポジウム		
大学体育の価値と評価 — 体育実技授業の実践と効果 —	コーディネーター 斉藤 篤司 (九州大学)	
1) 自己成長を図る授業の立場から	シンポジスト 西田 順一 (群馬大学)	35
2) 健康・体力・技術向上を図る立場から	シンポジスト 木内 敦詞 (筑波大学)	36
3) 社会的スキル向上を図る立場から	シンポジスト 杉山 佳生 (九州大学)	36
5. 研究報告		
1) スポーツ実習におけるボウリングの授業が学生の感情変容に及ぼす影響 — 特に一過性の変容について —	杉浦 春雄 (岐阜薬科大学) 坂本 太一 (岐阜薬科大学)	38
2) ダンスの専門家及び小・中・高等学校の体育教員が有する 表現系ダンス・リズム系ダンスの技能評価観点の事例分析 — 大学ダンス授業における技能評価力の育成のために —	梶 ちか子 (鹿屋体育大学) 金高 宏文 (鹿屋体育大学)	40
3) 分野連携による体育科目の新しい役割 — キャリア形成支援の観点から —	西村 次郎 (岡山理科大学) 松尾 美香 (岡山理科大学) 望月 雅光 (創価大学)	41
4) 茨城県の高専機関における教養体育の教育システム分析	梶田 和宏 (筑波大学大学院) 川戸 湧也 (筑波大学大学院) 木内 敦詞 (筑波大学) 長谷川悦示 (筑波大学)	42

5) 大学体育授業における学修成果の先行要因 — 受講者のパーソナリティ特性と授業経験による検討 —	西田 順一 (群馬大学) 橋本 公雄 (熊本学園大学) 藤原 大樹 (保健医療経営大学)	43
6) 初年次教育における大学体育授業の意義と役割に関する調査研究	中山 正剛 (別府大学短期大学部) 小林 勝法 (文教大学) 平工 志穂 (東京女子大学) 北 徹朗 (武蔵野美術大学)	44
7) 大学体育授業における教員の指導行動と主観的恩恵の関連性	藤塚 千秋 (熊本学園大学) 中須賀 巧 (兵庫教育大学) 山崎 将幸 (東亜大学) 橋本 公雄 (熊本学園大学)	47
8) 通信制大学のスクーリングにおける学生及び教員のストレス評価 — 唾液アマラーゼを指標として —	服部由季夫 (星槎大学) 北 徹朗 (武蔵野美術大学) 渋谷 聡 (星槎大学)	48
9) 通信制大学のスクーリングにおける学生および教員の心理的变化 — 宿泊型授業でヨガによる心理的効果はあるのか —	渋谷 聡 (星槎大学) 服部由季夫 (星槎大学) 北 徹朗 (武蔵野美術大学)	49
10) 大学生のスポーツ経験と意識に関する調査報告 — 全国16大学・短期大学にて実施した大規模調査 —	難波 秀行 (日本大学) 小林 勝法 (文教大学)	51
11) 部活動・サークルへの積極的な参加と大学生の学校適応感との関係	須崎 康臣 (九州大学大学院人間環境学研究院) 杉山 佳生 (九州大学大学院人間環境学研究院) 斉藤 篤司 (九州大学大学院人間環境学研究院)	52
12) 大学体育における柔道授業の実施状況と課題	川戸 湧也 (筑波大学大学院) 梶田 和宏 (筑波大学大学院) 木内 敦詞 (筑波大学) 長谷川悦示 (筑波大学)	53
13) 地域スポーツ教室の参加継続に関わる要因の検討 — 参加した親子の継続意志に着目して —	元嶋菜美香 (長崎国際大学) 熊谷 賢哉 (長崎国際大学) 宮良 俊行 (長崎国際大学) 金 相勳 (長崎国際大学) 田井健太郎 (長崎国際大学)	54
6. 事例報告		
1) 大学と地域・産業を繋ぐ正課外教育プログラムの事例 — 大学ゴルフ授業の課題と試行 —	北 徹朗 (武蔵野美術大学) 森 正明 (中央大学)	56
2) ICT教材を用いた大学体育実技のパイロットスタディ — 初年次体育授業の主観的恩恵評価尺度 (PBS-FYPE) の変容からの検討 —	山崎 将幸 (東亜大学)	58
3) 大学水泳授業における自己保全および他者救助プログラムの実践報告	遠矢 英憲 (名桜大学) 田原 亮二 (名桜大学)	60
4) ウエイトトレーニングの授業におけるマッスルスキンスーツの有効性	小谷 究 (日本体育大学)	61
5) 専門性向上をねらいとした通年体育授業の取組み事例	山下 陽平 (関西大学)	62
6) 体育実技におけるリーダーシップ教育の試み — 大学体育でリーダーシップは育成できるか —	若月 徹 (藤田保健衛生大学) 宮澤 (桂華) 麻希 (藤田保健衛生大学)	63
7) 座学授業における体験学習動画活用の可能性	築山 泰典 (福岡大学) 藤井 雅人 (福岡大学)	64
8) 大学生の体育授業種目選択行動とライフスキルとの関連	東海林祐子 (慶應義塾大学)	65

9) ASASPO 倶楽部の活動報告			
— 登録者数を増やす取り組みについて —			
.....	水崎 佑毅 (福岡大学)	秀 泰二郎 (福岡大学)	
	山崎 郁美 (福岡大学)	森本百合香 (福岡大学)	
	檜垣 靖樹 (福岡大学)	田中 守 (福岡大学)	
	橋本 和俊 (びわこ成蹊スポーツ大学)		66
10) ASASPO 倶楽部における新プログラムの導入			
— 現状と今後の課題 —			
.....	秀 泰二郎 (福岡大学)	水崎 佑毅 (福岡大学)	
	山崎 郁美 (福岡大学)	森本百合香 (福岡大学)	
	檜垣 靖樹 (福岡大学)	田中 守 (福岡大学)	68
11) オリンピック教育における「金栗四三」の教材価値			
.....	柿山 哲治 (福岡大学)		71
12) 大学体育授業における視覚障害者スポーツ (ゴールボール) の実践			
— 筑波技術大学教育関係共同利用拠点事業の利用報告 —			
.....	栗原 浩一 (筑波技術大学)	香田 泰子 (筑波技術大学)	
	中島 幸則 (筑波技術大学)	向後 佑香 (筑波技術大学)	72
13) 段階表を用いた水泳授業の取り組み事例			
— 技能向上を把握できる評価表の検討 —			
.....	太田あや子 (武蔵丘短期大学)		73
7. ラウンドテーブル			
1) 大学体育授業におけるルーブリックの活用			
.....	《企画・司会》 小林 勝法 (文教大学)		
	《話題提供者》 小林 勝法 (文教大学)	平工 志穂 (東京女子大学)	74
2) 安全で楽しい授業創造を目指した球技のティーチングティップス			
.....	《企画・司会》 北 徹朗 (武蔵野美術大学)		
	《話題提供者》 服部由季夫 (星槎大学)	浅井 泰詞 (目白大学)	77
3) アクティブラーニングを用いた大学体育			
.....	《企画・司会》 田原 亮二 (名桜大学)	中山 正剛 (別府大学短期大学部)	
	《話題提供者》 田原 亮二 (名桜大学)	中山 正剛 (別府大学短期大学部)	79
4) 日本版 NCAA 設立に向けての動向と課題			
.....	《企画・司会》 池田 孝博 (福岡県立大学)		
	《話題提供者》 池田 孝博 (福岡県立大学)		81
8. 平成28年度 九州地区大学体育連合春期研修会に参加して			
.....	田原 亮二 (名桜大学)	中山 正剛 (別府大学短期大学部)	85
IV. 事務局報告			
平成28年度 九州地区大学体育連合事業報告			87
平成28年度 理事会議事録			88
平成28年度 総会議事録			92
平成28年度 決算報告			94
「体育・スポーツ教育研究 (第19巻第1号)」の論文投稿のご案内			96
平成29年度 事業計画			97
九州地区大学体育連合研究助成規定・施行細則			98
九州地区大学体育連合規約			99
平成28年度 九州地区大学体育連合 役員名簿			100
平成29年度 九州地区大学体育連合 役員名簿			101
平成28年度 九州地区大学体育連合 加盟大学および個人			102
平成29年度 九州地区大学体育連合 加盟大学および個人			103
編集後記			